

# 今、この人に Interview

ベトナム語講師 **Phạm Lê Thủy** (ファン レ トウイ) さん



言葉や料理、文化に親しむ機会を作り、  
もっとベトナムのことを知ってもらいたいですね。

## ■日本に来たきっかけは？

20年前に、ベトナムに観光に来ていた今の夫と知り合いました。私は外国人観光客の接客をする仕事をしていて、友達になりました。5年間手紙のやりとりなどを通して交際し、結婚して日本に来ました。夫は四国出身ですが、仕事の関係上、滋賀に暮らすことになりました。

## ■日本に来られたとき、日本語は話せましたか？

最初、日本語は話せなかったのですが、夫とは会話も文通も英語でしていました。日本語の勉強を始めたのは日本に来てからです。天津市国際親善協会の週1回の日本語講座などで日本語の勉強をしながらパートで仕事をしていました。また、ボランティアの日本語教室「淡海日本語ふれあいクラブ」でも勉強しました。それが今の私の第一歩になりました。ですからこの日本語教室にはとても感謝しています。その後、京都の日本語学校に1年間通い、通訳やベトナム語の講師を始めました。

## ■ベトナム語は日本人にとっては発音がとても難しいのですが、トゥイさんにとって日本語は難しくありませんでしたか？

ベトナム語は中国とフランスの影響を受けているので、文字はローマ字表記ですが発音は漢字に似ています。例えば日本語の「注意」はベトナム語で「チュイ」。そういう言葉が7割ぐらいあるので、覚えやすかったですね。逆に、漢字は使わないのでとても難しく、「酢」と「酒」を間違えて買ってしまったこともありました。

## ■ベトナム語を習いに来る人は、どんな人が多いですか？

京都の日中文化学院の講師として教えていますが、生徒はほとんどが会社員の方です。ビジネスのつながりが増えてきたため、ベトナムに赴任する前に言葉を勉強する人が増えていきますね。2014年からは天津市国際親善協会でベトナム語講座をスタート

しました。これは私の方から親善協会に提案して始まったものです。これまで、中国語や韓国語の講座がメインで、ベトナム語を勉強するには、滋賀からわざわざ京都へ行かないといけませんでした。でも、ベトナム語を習いたい人が増えてきているので、せっかくなら大津で教えたいと思ったんです。今は6～10の方が参加しています。

## ■ベトナム雑貨とベトナム料理の店を手伝っておられますね。これはどんなきっかけで始まったんですか？

日本に来て間もないころ、個人的に日本語を教えてくれる人がいないかインターネットで探して見つけたのが、膳所公園前の「金波」という和食のお店の娘さんだったんです。1年間マンツーマンで日本語を教してもらい、友達になりました。彼女もベトナムが好きなんです。それで5年前に、金波でベトナム料理を始めようということになりました。ただ私はおしゃべりは出来ませんが、料理は得意ではないので、料理の上手なベトナム人の友達に声をかけて、私もお手伝いすることにしました。毎月第一土曜日のランチタイムに「金波」で「ベトナムの日」を開いています。そして、お店に来られるベトナムに興味のある方たちと、おしゃべりを楽しんでいます。

## ■日本にきて、ベトナムとの違いを感じることはありますか？

日本では、みんな仕事の時間はきちんと仕事に集中していますね。そこはベトナム人も見習うべきだと思います。ベトナムでは、仕事でもすぐぐりラックスしていて、勤務時間中にちょっと買い物に出かけたりするようなこともあります。これから日本企業がどんどんベトナムに進出すると、こういった意識の違いの壁にぶつかるのではないのでしょうか。反対に、日本の職場はとても残業が多いですね。家族のために、早く家に帰った方がいいと思います。前にオーストラリアから来た友達も、夜8時を過ぎてもオ

## ●プロフィール●

ベトナム・ハノイ出身。39歳。結婚を機に2001年来日して滋賀県で暮らすようになる。日本語を勉強し、現在は語学学校や講座でベトナム語講師を務めている。日本の暮らしにもよくなじみ、好きな日本料理はみそ汁と漬物。ご近所の高齢者やママ友など幅広く交流し、日本とベトナムとの草の根の友好関係を作っている。



▲天津市国際親善協会のベトナム語講座の様子

フィスビルが明るいと感じていました。ベトナムでは残業はしないし、男性も家事を手伝うのが普通なので、専業主婦という概念はなく、共働きが当たり前になっています。日本もそうなれば、今の社会の問題は解決できるのではないかなあと感じます。

## ■好きな日本語の言葉や風景はありますか？

好きな言葉は「一期一会」と「継続は力なり」です。日本語が読めるようになってからは読書を楽しんでいます。本を読むと意味深い言葉に出会えていいですね。今も分からない言葉がたくさんあるので、辞書で調べながら読んで、いい言葉があればメモして覚えるようにしています。好きな風景は、京都の細い路地の奥に家が並んでいる風景です。ハノイの町の雰囲気似ているので、京都を歩くのが好きになりました。

## ■これからの夢を教えてください。

ベトナム語を習う人が滋賀県でも増えてきているので、地元でもっと講座を開きたいですね。そしてベトナムのことを、もっと知ってもらいたいと思っています。もう一つは、日本とベトナムの両方で暮らすこと。両方の国のいいところを味わいながら生活するのが将来の夢です。